

科目名	運動学実習【理学】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	大田尾 浩・久保 温子・古後 晴基・八谷 瑞紀・松本 幸						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必修（理学）
授業の概要 及びねらい	運動学で学んだ正常な身体運動の知識をもとに、実習を通して知識の定着を図り運動学に基づいた観察の視点を養うことが目的である。また、正常発達から加齢変化を含む身体機能の変化を考察することで理学療法の評価学・治療学の基盤となる知識を修得する。						
授 業 の 到達目標	科目の到達目標 1) 運動学の知識に基づいた観察を行うことができる。 2) 運動学の視点で考察ができる。 講義での到達目標 1) 提示された課題に、グループメンバーとともに積極的に取り組むことができる。 2) 実習課題から得られたデータをまとめる（データの入力、管理）ことができる。 3) 得られた値に対し、運動学に基づく意味づけを行い考察することができる。 4) 指定された形式に沿ってレポートにまとめることができる。 評価の方法 1) レポートを期限内に提出すること。 2) 実習に積極的に参加すること。						
学習方法	実習、講義、グループ実習・発表						
テキスト及び参考書等	田中繁監『モーターコントロール』医歯薬出版、中村隆一・他著『基礎運動学』医歯薬出版						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	◎	◎				80
授業態度		○	○				10
受講者の発表		○	○				10
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	運動学実習のオリエンテーション（大田尾・久保・古後・八谷）						
第 2 週	体重計のいろんな使い方（大田尾）						
第 3 週	バランス能力について考える（大田尾）						
第 4 週	筋力を測る（大田尾）						
第 5 週	息切れのメカニズム（八谷）						
第 6 週	呼吸機能の測り方（八谷）						
第 7 週	柔軟性とは（古後）						
第 8 週	歩行の測り方（大田尾）						
第 9 週	姿勢観察（久保）						
第 10 週	発達について（久保）						
第 11 週	動作分析入門（久保）						
第 12 週	随意運動と不随意運動（古後）						
第 13 週	運動学習（八谷）						
第 14 週	高齢期の身体機能（大田尾）						
第 15 週	3次元動作解析（大田尾・松本）						
第 16 週	まとめ（大田尾・久保・古後・八谷）						
備 考	指定したテキストを十分に読み込み、レポート作成に活用すること。						